

英語 ENGLISH



※詳細はP26を参照

企画の概要

ベーシック英語は、基礎的な英文法の知識や英文読解の力を身に付けることで、高校で学習する英語の土台をしっかりと固めることを目的とした教材です。ベーシック英文法では左ページの解説で確認した文法事項を右ページすぐに問題演習する、という流れを繰り返すことで、教科書レベルの英文法を丁寧に学習し、確実に定着させることができます。ベーシック英語長文では、ベーシック英文法で学習した文法項目ごとに入試で扱われるテーマの読解問題を掲載。読解演習を通して文法知識の理解を深めるとともに、入試に備えて確実に身に付けておきたい読解力の基礎を養うことができます。

ベーシック 英文法

第4講 時制(2)

1 注意すべき時制

● 学習のポイント 基本文の音声を聞く

- Let's go on a picnic if it is sunny next Sunday.
(今度の日曜日、晴れたらピクニックに行きましょう。)
- I knew that he was good at swimming.
(私は彼が泳ぎが得意なことを知っていました。)
- We learned that the earth is round.
(私たちは地球は丸いと学びました。)
- Our teacher said that Beethoven was born in 1770.
(私たちの先生は、ベートーベンは1770年に生まれたと言いました。)

WORDS

- go on a picnic 「ピクニックに行く」
- be good at ~ 「~が得意である」
- Beethoven 「ベートーベン」(ドイツの作曲家)

未来を表す現在形

時制の一貫
• when, before, until や ifなどの「時」や「条件」を表す副詞の中では、未来を表す場合でも、動詞は現在形にしなければなりません。> 例文1

• 文中に、主節と従属節のある「複文」では、主節の動詞が過去形のとき、それに応じて従属節の動詞(助動詞)は過去形または過去完了形になればなりません。> 例文2

*主節の動詞が現在形、現在完了形、未来を表す形の場合は、従属節の動詞の時制は何の制限も受けません。

例 I know she lives in Yokohama. 従属節の動詞：現在形⇒過去形

I knew she lived in Yokohama.
(私は彼女が横浜に住んでいたことを知っていました。)

* 訳し方の注意 時制の一貫によって従属節の動詞が過去形になった場合、訳すときは「現在形」のように訳すので、注意が必要です。

例 I think Taro left for Osaka. 従属節の動詞：過去形⇒過去完了形

I thought Taro had left for Osaka.
(私は太郎は大阪に向けて出発したと思いました。)

*ただし、従属節が次のようない内容を表す場合、その動詞(助動詞)は時制の一貫を受けません。

① 不変の真理を表す⇒現在形のまま > 例文3

② 現在の習慣を表す⇒現在形のまま

③ 歴史上の事実を表す⇒過去形のまま > 例文4

④ 仮定法⇒仮定法の時制のまま

時制の一貫の例外

P.29で扱う語句を確認しよう。
→ P.29

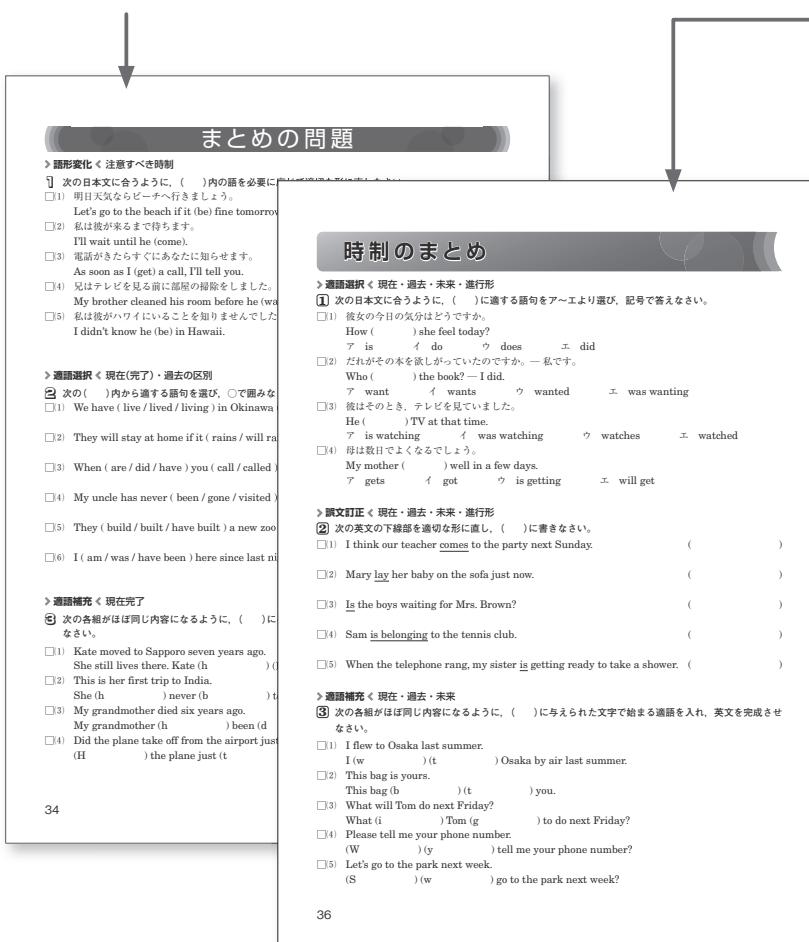
① manner[mænər] 国 態度、物腰 → angry[æŋgrɪ] 国 怒って、腹を立てて

② until[untɪl] 国 ～するまで(ずっと) → married[mærɪd] 国 結婚している

</div

●まとめの問題

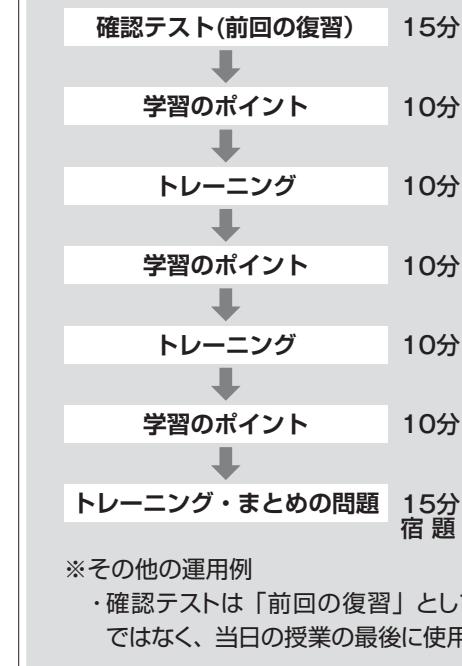
「トレーニング」で個別に扱ってきた問題パターンを組み合わせた複合問題です。文法事項の違いを意識しながら問題演習を積むことで、表現・用法の理解を深めます。



● ○○のまとめ

「時制」「不定詞・分詞・動名詞」「関係詞」「比較」「仮定法」の5つのまとめ問題を見開きで掲載（数講ごとに2p）。学習の成果を測ることができます。

個別指導の運用例(1コマ80分)



ベーシック 英語長文

● 読解問題

ベーシック英文法のカリキュラムに沿って、最新の素材をベースに書き起こした英文を各単元2問ずつ出題しています。教科書レベルの問題演習で、長文読解の基礎を固めることができます。目安時間と語数を参考に読むことで、速読力の向上にも役立ちます。

- ※ベーシック英文法の「学習のポイント」は、スタンダード英語I・英語IIの「基礎学習」と共通の内容です。
- ※ベーシック英文法の「トレーニング」と「まとめの問題」は英文法トレーニングと共通の内容です。
- ※ベーシック英語長文の英文は、スタンダード英語I・英語IIの「読解問題」と共通の内容です。

第4講 時制(2)

① 次の英文はマイクが商品を購入したオンラインストアに送ったメールとその返信です。英文を読んで、以下の各問に答えなさい。(目安時間 15 分)

Dear Kent's Coffee House,

I bought Brazilian coffee beans (No.2312) from your online store on April 3rd. In the shipping notification email, the expected arrival date is listed as April 5th. However, I () () received the item at this time. I would appreciate it if you could check on it as soon as possible and get back to me. If you have not shipped the coffee (②), I would like you to do so as soon as possible.

Mike Smith

Dear Mr. Smith,

Thank you for purchasing from our shop. We are very sorry for the mistake. I have confirmed receipt of your order. We (③) a shipping notification, but the shipment was not delivered properly due to a computer problem. The Brazilian coffee beans you purchased (No.2312) were shipped () and are expected to arrive at your house (). As a token of apology, we gave you 15% off this order and have enclosed () a coupon that will give you 10% off your next order. We will take great care to prevent such problems from occurring again. Thank you for your continued patronage.

Kent Norton

(約200語)

① 下線部①が「この時点では私は商品を受け取っていません」という意味になるように、()に適する語を入れなさい。

② (②) (③) () にあてはまる語(句)を次から選び、記号で答えなさい。

② ｱ. already ｲ. either ｳ. yet ｴ. as well ②()

③ ｱ. issue ｲ. issued ｳ. will issue ｴ. are issued ③()

④ 下線部②の空所に入る語(句)の組み合わせとして適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ｱ. today / yesterday ｲ. tomorrow morning / yesterday ④()

ｳ. tomorrow morning / today ｴ. today / tomorrow morning ()

⑤ 下線部③の coupon は何のためのものか。適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ｱ. 今回購入した商品の代金を 10% 削引する。 ｲ. 今回購入した商品の代金を 15% 削引する。

ｳ. 次回の商品購入時に代金を 10% 削引する。 ｴ. 次回の商品購入時に代金を 15% 削引する。 ()

WORDS shipping notification email 「商品の発送を通知するメール」 expected arrival date 「到着予定日」 purchase 「購入する」 confirm 「確認する」 deliver 「配達する」 as a token of apology 「おわびのしるしとする」 enclose 「封入する」

point

② (2) 「もしまだ～していないければ」という内容にする。

③ be expected to do 「～することになっている」

8

数学 MATHEMATICS



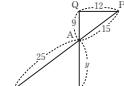
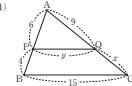
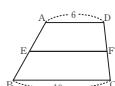
※詳細はP26を参照

企画の概要

ベーシック数学では、大学入試対策の基礎となる知識を例題・類題と多彩な演習問題で身に付けていきます。従来からの集団授業形式や個別指導形式だけでなく、リモート授業など、生徒自身が自力で学習を進めていく場面でも学習しやすいように、コーナーの構成や解答解説を工夫しました。特に解答解説は別解の掲載も充実し、途中式もなるべく省略せずに詳細に説明していますので、どこで間違えたのかを生徒自身の力で見つけることができます。

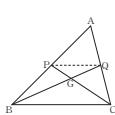
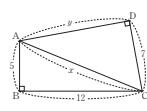
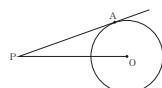
ベーシック 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B

:: ウォーミングアップ ::

1 次の図で、 $PQ \parallel BC$ のとき、長さ x, y を求めよ。2 右図のような $AD \parallel BC$ の台形ABCDがある。辺ABの中点Eから、辺DCに平行な直線をひき、辺DCの交点をFとするとき、線分EFの長さを求めよ。

3 右図の△ABCにおいて、辺ABの中点をP、辺ACの中点をQ、BQとCPの交点をGとするとき、次の問い合わせよ。

- (1) $BG : GQ$ を求めよ。
(2) 面積比 $\triangle ABC : \triangle GBC$

4 右図の四角形ABCDで、長さ x, y を求めよ。5 右図で、直線PAは円Oの接線、点Aはその接点である。円Oの半径が2、 $OP=6$ のとき、PAの長さを求めるよ。

2

● ウォーミングアップ(数講ごとに2p)

ベーシック数学では、新しい分野（教科書の章に相当）に取り組む直前に「ウォーミングアップ」のコーナーを設け、過去の学習内容のうちこれから学習する上で確認しておきたい内容を演習形式で取り上げています。中学や前学年の既習内容に不安がある生徒でも、ここで前提知識を確認することで、安心して新出事項の学習に取り組むことができます。難問は扱っておらず、解答解説冊子でも詳細に説明しているので、生徒自身が予習として進めることができます。

第1講 図形の性質(1) 三角形の性質

学習のポイント

1 三角形の重心

右図の△ABCで、3本の中線AL, BM, CNは1点Gで交わり、この点Gを三角形の重心といいう。この点Gは、中線ALを $\frac{1}{3}$: 1に内分する。すなわち

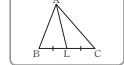
$$AG : GL = 1 : 2$$

また、同様に、中線BM, CNを $\frac{1}{3}$: 1に内分する。

このように、三角形の3本の中線は1点で交わり、この交点は各中線を $2 : 1$ に内分する。

point 中線

三角形の1つの頂点とそれに向かい合う辺の中点とを結ぶ線分。



← 内分と外分

m, n を正の実数とする。点Pが線分AB上にあって、 $AP : PB = m : n$ が成立立つとき、点Pは線分ABを $m : n$ に内分するという。

点Qが線分ABの延長上にあって、 $AQ : QB = m : n$ が成立立つとき、点Qは線分ABを $m : n$ に外分するという。

point 垂直二等分線

1つの辺の中点を通る、これに垂直な直線。特に、 P について
 $PA = PB$ が成立立つ。

2 三角形の外心

右図の△ABCで、3辺BC, CA, ABの垂直二等分線は1点Oで交わる。

点Oは辺BCの垂直二等分線上にあるから

$$OB = OC$$

同様に、 $OC = OA$, $OA = OB$ であるから、点Oは3頂点A, B, Cから等距離にある。

よって、点Oを中心として、3頂点A, B, Cを通る円をかくことができる。

このように、三角形の3辺の垂直二等分線は1点で交わり、この交点が三角形の外心である。

三角形の外心は、三角形の形状によって次のような位置にある。

- (i) 鋭角三角形 (ii) 直角三角形 (iii) 鈍角三角形

内部

斜辺の中点

外部



解答 [① CN ② 重心 ③ 2 ④ OC ⑤ OB ⑥ 外接円 ⑦ 外心]

4

● 学習のポイント

各講の冒頭では、新出事項を解説した「学習のポイント」があり、ここで基礎知識を理解します。長い文章を読むのが苦手な生徒でも、穴埋め形式になっているので、目で字面をなぞるだけでなく手と頭を使いながら進めることができ、集中力も持続させることができます。新版では穴埋めの設け方を改善し、考えやすく、進めやすくなりました。

※ベーシックの「学習のポイント」は、スタンダードの「基礎学習」と共通の内容です。

● ターゲット

「学習のポイント」で学んだ事項を問題の中でどのように活用するかは、「ターゲット」で確認します。典型題と穴埋め式の解法をたどることによって、基本的な使い方を習得することができます。※ベーシックの「ターゲット」は、スタンダードの「例題」と共通の内容です。

● トレーニング

直前の「ターゲット」で学習した内容に対応する問題を「トレーニング」で練習します。「トレーニング」では「ターゲット」よりも基本的な問題から扱っているので、「ターゲット」で学習した解法も少しづつ自分のものにしていくことができます。また、反復練習用の問題も豊富に用意しているので、1つ1つ確実に定着させてから次の「ターゲット」に進むことができます。

ターゲット1 [三角形の重心] → 1
右図で、点Gは△ABCの重心である。GL=2, BG=6のとき、次の長さを求めよ。
(1) AG (2) BM



ヒント

解説
(1) 点Gは△ABCの重心であるから、 $AG : GL = ① : ②$ より
 $AG = 2 = ① : ②$
よって、 $AG = ③$

(2) また、 $BG : BM = 2 : ④$ より
 $6 : BM = 2 : ④$
よって、 $BM = ⑤$

→ $BG : GM = 2 : 1$

ターゲット1の答

1 2 2 1 3 4
4 3 5 9

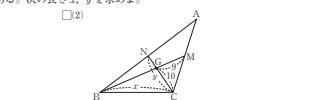
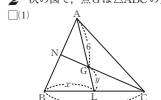
トレーニング TRAINING

1 次の点を下の図に図示せよ。

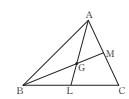
- 1 線分ABを5:3に内分する点P
□2 線分BAを3:1に内分する点Q
□3 線分ABを9:1に外分する点R
□4 線分ABを1:4に外分する点S



2 次の図で、点Gは△ABCの重心である。次の長さx, yを求めよ。



3 右図で、点Gは△ABCの重心である。面積比△ABC : △AGMを求めよ。



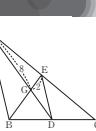
4 △ABCにおいて、2辺AB, ACの中点をそれぞれD, E, BEとCDの交点をGとする。また、Gを通りBCと平行な直線と2辺AB, ACとの交点をそれぞれF, Hとするとき、DE : FHを求めよ。

7

まとめの問題

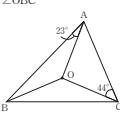
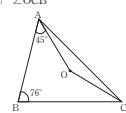
1 右図の△ABCで、2辺BC, CAの中点をそれぞれD, E, ADとBEの交点をGとするとき、次の問いに答えよ。

- (1) BG, AGの長さを求めよ。
(2) 面積比△ABC : △FDCを求めよ。



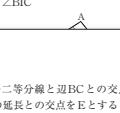
2 右図で、点Oは△ABCの外心である。次の角の大きさを求めよ。

- (1) ∠OCB (2) ∠OBC



3 右図で、点Iは△ABCの内心である。次の角の大きさを求めよ。

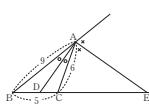
- (1) ∠IAC (2) ∠BIC



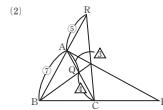
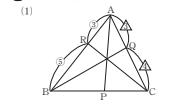
4 AB=8, AC=6をD, E, Fとす
(1) 線分CD, BD
(2) BC=10のとき

5 右図の△ABCで、∠Aの二等分線と辺BCとの交点をD、頂点Aの外角の二等分線と辺BCの延長との交点をEとするとき、次の長さを求めよ。

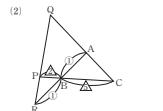
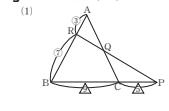
- (1) DCの長さ
(2) ECの長さ



6 次の図で、BP : PCを求めよ。



7 次の図で、CQ : QAを求めよ。



8 次の問いに答えよ。

- (1) △ABCにおいて、∠A=46°, ∠B=85°のとき、3辺BC, CA, ABの大小関係を不等号を用いて表せ。
(2) △ABCにおいて、AB=5, BC=4√2, CA=6のとき、3つの内角の大小関係を不等号を用いて表せ。

9 長さ2x, x+9, 15の3つの線分を3辺とする三角形が存在するxの範囲を求めよ。

14

まとめの問題

「ターゲット」と「トレーニング」を交互に繰り返したあとは、2pの「まとめの問題」で講の内容全体を確かめます。学習順には並んでいますが、講全体の内容からどれを使えばいいのか見極めながら解くことで、知識の確認だけでなくその役割など、より深い理解に結びつきます。

個別指導の運用例(1コマ80分)

学習のポイント

予習

確認テスト(前回の復習)

25分

ターゲット・トレーニング

55分

まとめの問題

宿題

※トレーニングの残りは宿題。

15



企画の概要

基礎・基本事項を習得することを重視したベーシックの国語。現代文では、文章の内容理解を徹底すべく、一つの文章を内容理解のために1回、問題を解くためにさらに1回扱うという、高校用国語教材としては非常にユニークな構成になっています。また、カリキュラムは大学入試を意識した文章分野別の構成で、高校教科書でよく目にする作家や、大学入試で頻出の作家の文章にじっくり取り組めます。高校の古典では中学までと比べて知識量や難易度が格段にアップするため、中学と高校の学習内容のギャップに戸惑って苦手意識を持つ生徒が少なくありません。これを踏まえてベーシックの古典では、一つの講の中でコーナー間の難易度差を抑え、少しずつステップアップできるように配慮。カリキュラム構成においては、適宜、復習講を設けることでスパイラル式に知識の学び直しができるようになっています。

ベーシック 現代文

大意を把握する・内容を解釈する

文章を読んだ後に、まず「大意を把握する」のコーナーで、結論に向かう文章全体の流れをつかみます。文章を大まかな枠組みでとらえ、あらすじを確認するのが狙いです。また、文章内容の理解を深めるために、「内容を解釈する」のコーナーで、内容がある一面から捉え直し、分解し並べ替えて図式化します。内容の「咀嚼」を行うことで、読解力・思考力を高めることができます。

読解演習

最初の見開きと同じ文章・同じ引用箇所で、通常の読解演習を行います。「大意を把握する」と「内容を解釈する」で扱った内容をあえて出題。理解が深まっている分、解答しやすくなっています。読解問題はまず文章の内容理解から始まる事を意識付け、「自分にもできた」という達成感を生徒に与えることで、次の学習につなげます。

●主な論調・キーワード

各分野の文章でよく出てくるキーワードを説明しつつ、その分野の主な論調、よく問われることを、巻末で紹介しています。文章の背景に関する知識があれば、理解もより深まり、最終的には得点力のアップにつながります。

個別指導の運用例(1コマ80分)

確認テスト(前回の復習)	15分
↓	
問題1	35分
↓	
問題2	15分
↓	
主な論調・キーワード	15分

※問題2の読解問題は宿題。
※その他の運用例

- ・確認テストは「前回の復習」としてではなく、当日の授業の最後に使用。
- ・「主な論調・キーワード」は、問題1・2に取り組む前に解説する。

ベーシック 古典

● 学習のポイント

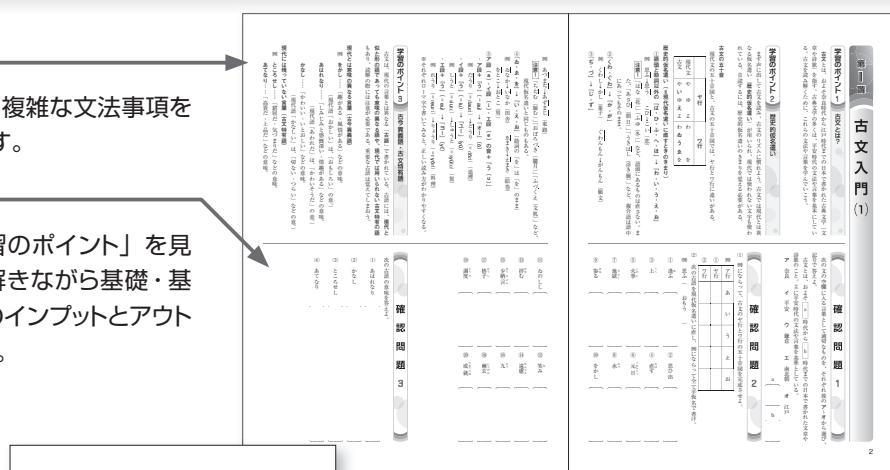
図や表が数多く取り入れられているので、複雑な文法事項を一つひとつ整理して押さえることができます。

● 確認問題

下段に掲載されている確認問題は、「学習のポイント」を見れば解けるレベルになっており、問題を解きながら基礎・基本事項を習得することができます。知識のインプットとアウトプットを効率よく進められるレイアウトです。

● 基本問題

「学習のポイント」や「確認問題」で学んだ文法事項について、易しめの問題から標準的なレベルの問題までを解くコーナーです。「確認問題」との難易度差が広がり過ぎないように問題のレベルが調整されているので、無理なく知識の定着を図ることができます。

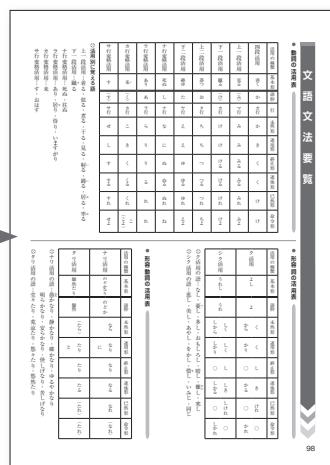
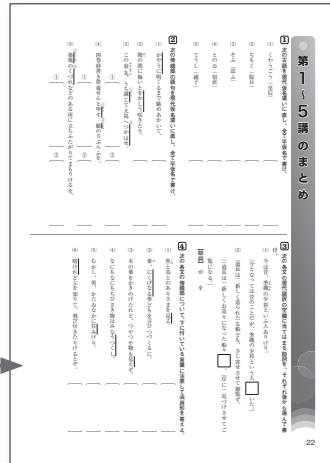
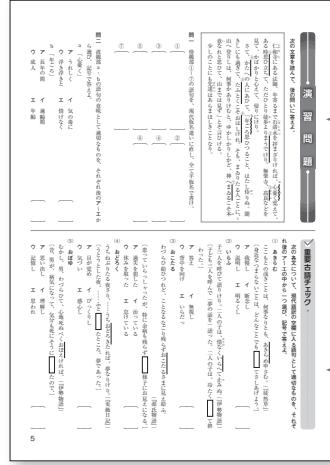


● 復習問題

本教材には、数講に一度、それまでの内容を復習するページを設置。一度学んだ文法事項を重ね塗りのようにして復習することで、盤石の文法力を身に付けることができます。また、その講までの「重要古語チェック」で扱った古語の復習問題も掲載しました。

● 文語文法要覧

「力変の連体形は?」「この助動詞の接続、何だっけ?」……。そんなとき、文法事項を手早く確認できるよう「文語文法要覧」を巻末に掲載。主要項目（動詞・形容詞・形容動詞・助詞・助動詞・敬語）が網羅されています。



● 演習問題

易しめの文章を通して「基本問題」レベルの問題を解くコーナーです。文法問題を中心としつつ、適宜、内容解釈に関する問題も扱われているので、文法の知識を読解に結びつける力を養うことができます。

● 重要古語チェック

大学入試の古典を読みこなせるようになるには、文法力だけではなく語彙力、つまり古文単語に関する知識を積み重ねておく必要があります。これを踏まえ、各講に古文単語の意味を確認するコーナーを掲載。また、単なる暗記作業に陥らないように、例文と現代語訳を掲載し、古語の意味を文脈から類推して解くという設問形式になっています。漢文の講では、基本句形を扱っています。

個別指導の運用例(1コマ80分)

確認テスト(前回の復習) 15分

↓
学習のポイント・確認問題 25分

↓
基本問題 15分

↓
演習問題 15分

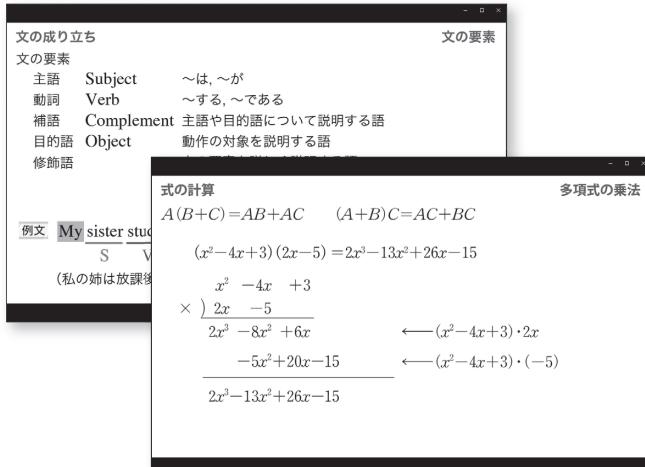
↓
重要古語チェック 10分

※その他の運用例

・確認テストは「前回の復習」としてではなく、当日の授業の最後に使用。

ポイントレッスン

数学・英語の重要事項を
動画で解説



※デザイン・仕様は変更になることがあります。

1 解説動画がテキストに無料で付属!

数学・英語の重要事項の理解度を深めるためのショートムービーをご用意しました。テキストに記載されているQRコードからアクセスできる専用WEBページにて、無料でご視聴いただけます。

※解説するコーナー・内容は教科等によって異なります。通信費等はユーザーのご負担となります。

2 指導現場の状況に合わせて 使い方は自由自在

授業内容の復習や欠席対応、予習（反転授業）など、指導現場のニーズに応じて、さまざまな使い方が可能です。

3 タブレット・スマホ・PCで利用可能!

利用方法は、タブレット・スマホ・PCのブラウザで専用URLにアクセスし、希望の動画を選ぶだけ。通信環境さえあれば、教室でも自宅でもいつでもご利用いただけます。

ポイントレッスンQRコード掲載テキスト

スタンダード数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ

スタンダード英語Ⅰ・英語Ⅱ

ベーシック数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ

ベーシック英文法

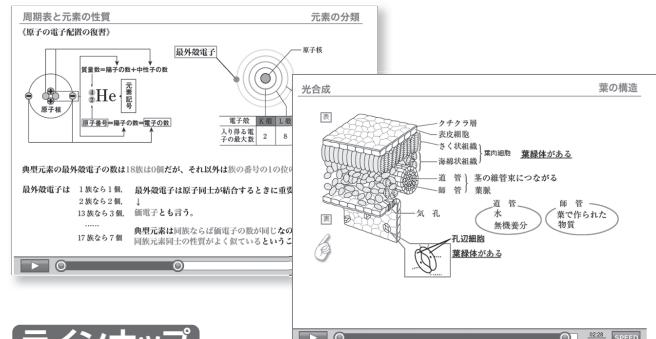
QRコードがテキストに掲載!
教材ご購入で無料視聴できます!

※数学Ⅱは2022年7月より順次公開予定!

E-zo高校新演習

『高校新演習スタンダード』対応映像教材
数学・英語は新課程用映像（ポイントレッスン）
も追加搭載!

- 理解度を記録し、要復習ポイント早期発見!
- 管理画面で生徒の視聴履歴と理解度をチェック!
- 反転授業や成績向上に欠かせない家庭学習を促進



ラインナップ

2022年度 高1生用映像【新課程】

「数学Ⅰ」「数学A」「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「数学Ⅱ」

※映像はポイントレッスンと同内容です。

数学Ⅱは2022年7月搭載予定です。

2022年度 高2・高3・既卒生用【旧課程】

「古典Ⅰ」「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「物理」「化学」「生物」「日本史B」「世界史B」

料金プラン

名称	プラン	本体価格+税
E-zo 高校 新演習	基本使用料 月額(50ID)	50,000円+税
	追加ID料金	500円+税
	基本使用料 月額(15ID)	30,000円+税
	追加ID料金	800円+税
	基本使用料 月額(5ID)	20,000円+税
	追加ID料金	1,000円+税

新演習レクチャームービー

※2022年度 高2・高3・既卒生用の映像教材です。2022年度の高1生の学習[新課程]には対応していません。

※本サービスは予告なく仕様等が変更、あるいは終了となる可能性がございます。

- 各単元の要点整理を、経験豊富な講師が解説!
- 生徒の学習用はもちろん、講師の研修用にも!
- 「E-zo新演習」への追加搭載も可能

対応テキスト

- ・高校新演習スタンダード：日本史B(上・下)、世界史B(上・下)、数学Ⅱ(旧課程)、数学B、英語構文、物理、化学、生物
- ・高校新演習ベーシック：数学Ⅱ(旧課程)、数学B
- ・高校新演習プログレス：数学Ⅲ

※対応教材ご購入後、担当営業までお問い合わせください!



高校新演習 高校入門

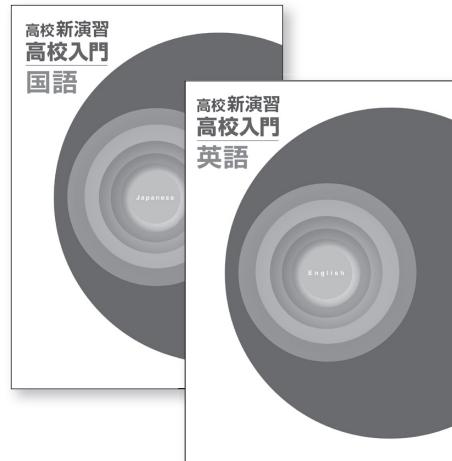
中学と高校の橋渡しに最適!

多様なレベル・使用層に対応した決定版



確認テスト付き

教科	ページ数	本体予価+税	サイズ
国語	40P		
数学	40P	780円+税	
英語	36P		B5



※表紙デザインは変更となる場合があります。

1 高校入学後も塾で学習したくなる! 学びを促進する構成

高校の最初で学習する初步的な内容はもちろん、中学までとは質的に異なる内容・勉強法まで、幅広く扱います。高校での学習に見通し立てることのできるテキストです。高校教科書の少し深い段階までをあえて提示することで、高校入学後も塾に通って学ぶことの大切さを生徒に体感させる作りになっています。

2 目的やレベルに応じて、多様な使用法が可能!

国・数・英ともに6講で構成しました。前半3講と後半3講でレベル・目的を大きく二分しています。文字通り「高校入門」レベルの生徒や、難関高校に合格して歯ごたえのある問題を求めている生徒など、多様な使用層に対応したカリキュラム&コーナー設定を実現。使用時期・目的も、推薦入試で早めに進路を決めた生徒の進学準備、春期講習用テキスト、高校入学後の学力定着など、幅広くご使用いただけます。

国語

現代文3講・古典3講の構成です。現代文では抽象度・語彙レベルの高い読解問題を出題。中学までとは質的に異なる読解力の必要性を実感することが可能です。古典は用言の文法を先取り学習します。

数学

後半3講に、高1最初の山場である2次関数を配置しました。前半には、2次関数を解くために必要な代数の内容と、图形を配置。各講は、スマートルステップで理解を深められる構成となっています。

英語

前半を文法、後半を読解にあてました。文法では、中学の重要文法と高校文法の先取り内容を学習。読解では、英文の読み方や、品詞・文構造を意識した読解の基礎を身に付けることができます。

国語	1講	現代文の読解(1) 哲学・思想
	2講	現代文の読解(2) 言語・文化
	3講	現代文の読解(3) 社会科学
	4講	古典文法(1) 動詞の活用形
	5講	古典文法(2) 動詞の活用の種類
	6講	古典文法(3) 形容詞・形容動詞 文語文法要覧

数学	1講	高校へのブリッジ
	2講	展開と因数分解
	3講	1次不等式・絶対値
	4講	図形の性質(数学A)
	5講	2次関数とグラフ
	6講	2次関数の最大・最小 2次関数の決定

英語	1講	品詞の判別・文構造
	2講	基本時制・完了時制
	3講	不定詞・動名詞・分詞
	4講	リーディング イントロダクション
	5講	リーディング(1)
	6講	リーディング(2) 重要構文